2023.10.11

露天風呂から秋を満喫　大人のためのプレシャスな宿

記事　トラベル

鮮やかな紅葉の木々、月と星の饗宴。秋のドライブの行き先には、そんな鮮やかな季節を満喫できる場所はいかがでしょう。しかも、できることならあらゆる喧騒から逃れられる宿で、誰にも邪魔されず静かにのんびりと。
東京都内から車で2時間。箱根周辺にはまさに秋を満喫できる個性豊かな宿が続々と開業しています。お部屋からの借景が紅葉や星空という、秋を満喫できる旅館・ホテルをご紹介します。

文／遠藤加奈

すべての客室から秋の箱根連山が楽しめるラグジュアリーリゾート「ふふ 箱根」

「ふふ」は旅館の温かいおもてなしとリゾートホテルのプライベート感を融合したスモールラグジュアリーホテル。熱海や河口湖、京都、日光などで展開しており「ふふ 箱根」は2022年に開業しました。箱根連山が目の前にそびえ、力強い岩や草花を穏やかな光が包み込む箱根らしい自然を感じることができるラグジュアリーリゾートです。

客室の内風呂は窓を開ければ半露天風呂のような開放的な空間に

山々に囲まれた大自然の中に佇む「ふふ 箱根」は、山の傾斜に沿って建築されているので、すべての客室から箱根連山を正面に眺めることができるつくりに。岩が多く、亀の甲羅のように地盤が硬いことが強羅の名称の由来となったという説があり、「ふふ 箱根」では、エントランスや壁面、カウンターなどにダイナミックに岩を配し、力強さを表現しています。また箱根火山の噴火で生まれた稀少な小松石をインテリアやアート、引き出しの取っ手部分などに使用し、自然の魅力を取り入れた空間となっているのが特徴です。

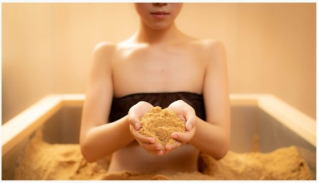
全39室の客室はすべてスイートルームで、ベージュを基調とした落ち着いたトーンのなかに、「ふふ 箱根」のコンセプトでもある箱根らしい力強い岩石、繊細な竹細工の花器に活けられた季節の草花が山のリゾートらしさを醸します。大きなソファやデイベッドが心地よく、大自然を感じながらゆったりとした時間を過ごせるつくりとなっています。

最も広い客室の「ふふ ラグジュアリープレミアムスイート」は約100〜120㎡の広さを誇ります

客室湯や大浴場からは、紅葉や空、樹々の香りなどを愉しむことができます。大浴場は乳白色のにごり湯、客室湯はアルカリ性のしっとり湯と、大浴場と客室で異なった泉質となっているのも「ふふ 箱根」の醍醐味。またスパでは、ヒノキのおがくずに包まれる発酵温熱木浴を体験することも可能。電気やガスを使わず微生物の発酵熱により、カラダを芯からじんわり温める木浴は、血行が促進され、免疫力のアップ、冷え性の改善、肩こりの解消、自律神経を整えるほか、美肌効果などが期待できます。

食事はゲストが好みの組み合わせで愉しむことができるプリフィックススタイル。メイン料理、食事、水菓子は20品以上の献立から好きな料理を選ぶことができます。握り寿司、天婦羅、黒毛和牛のすき煮など、各地から取り寄せた旬の厳選素材を使ったメニューのほか、黒毛和牛のステーキなどもコースの1品としていただくことができます。日本らしい落ち着いたおもてなしと海外のラグジュアリーなリゾートホテルのようなゴージャスさも持ち合わせたリゾート「ふふ 箱根」。近隣の姉妹ホテル「箱根・翠松園」との連泊プランも用意されているので、趣や泉質の異なる宿をはしごして秋の箱根を満喫してみては。

山の稜線を眺めることができる絶景の大浴場



発酵温熱木浴では、吉野の特定無垢
ヒノキパウダーだけを使用しています

「ふふ 箱根」
神奈川県足柄下郡箱根町強羅1320-807

0570-0117-22

https://www.fufuhakone.jp

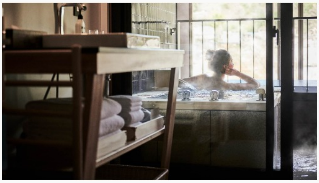
芸術の秋を堪能できるブティックホテル「ホテルインディゴ箱根強羅」

アメリカやヨーロッパ、アジアなど世界で100軒以上を展開している「ホテルインディゴ」。その日本初進出となったのが「ホテルインディゴ箱根強羅」です。「ホテルインディゴ」はローカルの魅力を表現するライフスタイル・ブティックホテルで、館内はその土地に縁のある現代アートや伝統工芸に彩られ、ホテルスタッフによるネイバーフッドのストーリーテリングを聞くなど、知的好奇心を刺激する新しいおもてなしのスタイルを提供しています。

早川を一望できる足湯＆カフェ

ウッディで落ち着いた佇まいの外観ですが、一歩足を踏み入れると、そこは箱根強羅を象徴する岩や蛍、落ち葉などを散りばめたコンテンポラリーアートや寄席木細工などの伝統的なモチーフで彩られ、まるで泊まれるアートギャラリーのよう。客室のヘッドボードには、1919年創業の地元の写真スタジオ「スタジオカフェ・シマ」による昭和初期の強羅を撮影したモノクロ写真に遊び心を加えた作品が飾られ、箱根の過去と未来を繋ぐ空間となっています。

98室ある全客室に天然温泉が配され、うち80室には屋外露天風呂を完備しています。早川に面したリバーサイドの客室からは温泉に入りながら川のせせらぎに耳を傾けることができ、箱根の自然を五感で感じることができるつくりに。コンテンポラリーアートと伝統工芸をミックスした空間は、日本にいながら海外のような雰囲気もあり、思い出に残る特別な滞在を演出してくれます。



リバーサイドの客室露天風呂

デラックスツイン ヒルサイド温泉風呂付

「ホテルインディゴ箱根強羅」のサーマルスプリングは、水着で愉しむスパ仕様の大浴場。男女一緒に入ることができるのでカップルや親子連れにはもってこい。深さ1.2mの立ち湯や、横になってくつろげるジェットバスがあり、ベンチやカウチでゆったりくつろぐことも。壁面には温泉デジタルアートがパノラマスクリーンに映し出され、アートな温泉となっています。

また、テラスにあるカフェのカウンター席の足下には天然温泉が流れており、ティータイムを過ごしながら足湯を堪能することができるエンタメ性も高い誂えに。オールデイダイニングの「リバーサイドキッチン＆バー」では、小田原の老舗ロースター「スズアコーヒー」のバリスタがベストな状態を見極めてブレンドしたホテル特別焙煎コーヒーを使用した珈琲ゼリーや、プリンアラモード、季節限定の焼き芋を使ったシェイクなど見た目も可愛らしいスイーツをいただくこともでき、どんな世代のゲストも満足できるおもてなし満載の宿です。

「サーマルスプリング」は日帰り利用することも可能

土日祝日限定の「Hakoneプリンアラモード」はレトロな見た目で大人から子供まで人気のメニュー

「ホテルインディゴ箱根強羅」
神奈川県足柄下郡箱根町木賀924番１
0460-83-8310
https://hakonegora.hotelindigo.com/

秋の絶景と自然に囲まれ館内の散策が愉しい「箱根・強羅　佳ら久」

「めでたいこと、佳きことが、久しく続くように」という思いが込められている「箱根・強羅　佳ら久」。箱根連山と遥かに相模湾を望む絶景に囲まれ、趣の異なる数種類のお風呂を備え、多彩な湯浴みを味わえる宿です。敷地内は本館、別館、東と西の客室棟という４つの建物に分かれており、水のテラスや森のテラスと名付けられた自然に囲まれた共用部があり館内を散策するのも愉しい。

客室棟 東のバルコニー

客室棟は東と西に分かれており、趣の異なる客室が備えられています。客室棟 東は、谷筋を見下ろすように建っており、最上階の客室「佳ら久ルーム」からは、遥か相模湾まで一望できる絶景が広がります。客室棟 西はバルコニーのすぐ先に樹々が生い茂り、自然と一体となるような感覚が味わえます。どちらの客室棟にも、畳敷きの和室と絨毯敷きまたはフローリングの洋室がラインナップし、広々としたバルコニーに露天風呂が設けられ、テラスチェアに座りながら外気浴をすることが可能です。

ロビーやメインダイニングのある本館最上階には、大自然の造形を体感しながら湯浴みを満喫できる２つの展望風呂「蒼海」と「明星」が設えられています。別館には、３つの異なるテーマでデザインされた予約制の貸切風呂もあり、大浴場や客室風呂とは異なる趣の温泉体験をすることができます。

客室棟 西の和タイプの客室

先述したように、館内には散策を楽しめる工夫がされており、水のテラスでは水盤の中に誂えられた石板の上をまるで水の上を歩くように散歩することができます。森のテラスは青々と生い茂る竹林を抜けると、ベンチやカウンターのあるデッキに出ることができ、自然の中で一息つくことが可能。ゲストラウンジと直結しているので朝食後のコーヒーや夕食前後にワインなどを自由に嗜むことができます。

朝食と夕食は2つのレストランから選ぶことができ、メインダイニング「六つ喜」は、四季折々の和の食材を多彩な調理法で愉しむことができる会席レストラン。水のテラスの風景を堪能できるように、一面窓ガラスが設けられた開放的な空間で、個室または半個室が備えられています。「十邑（とむら）」は、厳選された肉や海鮮などを鉄板焼きで楽しめるグリルレストラン。最上階に位置するので明星ヶ岳の大文字を望むことができる空間になっています。複数のレストランや浴場があり、館内の散策も愉しめるつくりになっているので、連泊するのもおすす

めの宿です。

「森のテラス」に設けられたカウンターバー

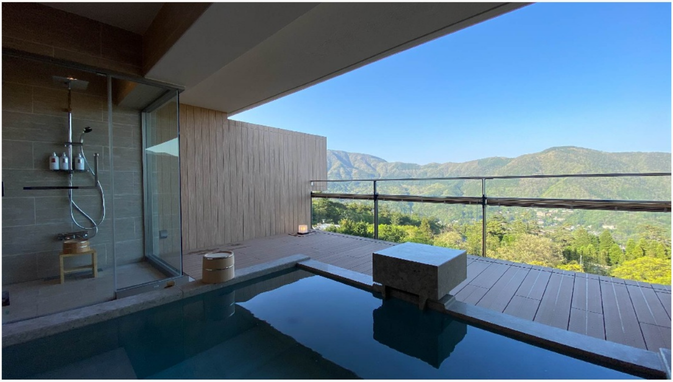
「十邑」ではダイナミックな鉄板焼に舌鼓を

山々と相模湾を借景にした「展望露天風呂　蒼海」は自然の中に浮かぶような感覚に

「箱根・強羅　佳ら久」
神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-8
0460-83-8860
https://www.gora-karaku.jp/

星空×露天風呂×食事がすべてお部屋でいただける「源泉茶寮 玄 箱根強羅」

強羅の高台にあり、客室のデッキから箱根連山と相模湾の絶景を見渡せ、全室源泉掛け流しの露天風呂付き。ほとんどのサービスが客室内で受けられ、究極のおこもりステイが叶うのが「源泉茶寮 玄 箱根強羅」です。



絶景を望む最上階客室の露天風呂

客室は全部で18室。最上階のプレミアムフロアには屋根も庇もないパノラマビューが広がるデッキ付きの客室があり、すべての客室から箱根連山の大文字焼きを見ることができます。各客室には、ヨガマットやストレッチポールのほか、双眼鏡、方位磁石や星座表といった天体観察セットが用意されており、絶景を存分愉しむための仕掛けも抜かりありません。大きなガラス窓や、仕切りの少ない客室は広々した開放感のある空間で、最も広い部屋は115㎡の広さを誇ります。

というのも、「源泉茶寮 玄 箱根強羅」では、部屋から一歩も出ずに過ごすことができる“おこもりステイ”をコンセプトにしており、滞在中ずっと客室にいても息苦しさを感じることなく過ごせるように、開放感のあるつくりやサービスを提供しているそう。食事も周囲を気にせず楽しめるように夕食、朝食とも部屋食。畳に座るスタイルではなく、ほぼすべての客室ではソファとテーブルでいただけるので、快適に食事を愉しむことができます。またスパもインルームでのサービスを提供しており、施術前後に露天風呂に入ったり、そのままお昼寝したりと、プライバシーを保ちながら自由気ままに過ごす工夫が随所に凝らされています。

双眼鏡で月や星空鑑賞を

朝食、夕食は客室のテーブルで

大浴場は、苔が生えた火成岩の岩壁に地下水のミストを噴射しているので、浴場全体がミストサウナのようになり幻想的な雰囲気に。大浴場にはサウナと水風呂も用意されているので、客室露天風呂とは異なった湯浴みを味わうことができます。湯上がりどころでは、マッサージチェアやフリードリンク、氷菓子などをいただくこともでき、抜かりのないサービスを享受できます。

客室冷蔵庫内のドリンクは無料だったり、ベッドはシーリー製だったりと細やかなおもてなしで快適に滞在できる「源泉茶寮 玄 箱根強羅」。大切な人とのプライベートな時間を大事にできる特別な宿です。

最上階の客室「吟」のデッキ部分

「源泉茶寮 玄 箱根強羅」
神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-238
0460-82-2229
https://www.gen-hakone.com/

静謐な伝統建築と近代建築を愉しめる「沼津倶楽部」

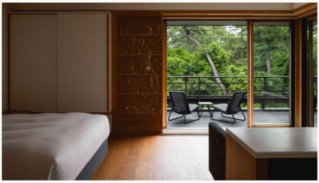
沼津倶楽部は、大正2年に建てられた数寄屋造りの登録有形文化財「松岩亭」がその始まりで、戦後、沼津の政治の拠点となったと言われています。その後、老朽化した数寄屋屋敷を補修・増築しレストランとなり、2006年に建築家・渡辺明の建築による宿泊棟「別邸」を設け「千本松・沼津倶楽部」として再興。この度2023年6月にリニューアルし新たに「沼津倶楽部」となりました。

版築という伝統工法を用い、富士川の砂と土を積層させた版築壁がモダンながら温かみのある雰囲気を醸します ©Ben_Richards

沼津倶楽部は、日本百景のひとつである千本松原の一角にあります。松林越しに富士山を臨むことができる風光明媚な土地ゆえ、多くの文人を魅了してきました。そんな「沼津倶楽部」は、3000坪の敷地にわずか8室という贅沢なつくりの宿。うち2室のバルコニーには松林を眺めることができる露天風呂が備えられています。客室は伝統的な和の要素と現代性がほどよく調和し、スタイリッシュながら落ち着いた空間となっています。

客室棟である「別邸」は、建築家・渡辺明の遺作で、木と土という自然素材を使用し、現代的に和を表現した名建築として知られています。富士川の砂と土を積層させた版築壁は、地層のように帯状の模様を作り出し、陽の光の移り変わりにより表情を変え、風景に溶け込みます。屋根にはほぼ無垢の吉野杉をびっしりと並べ、伝統的な数寄屋建築の風情も感じられるつくりに。「別邸」の前には水盤が設えられており、樹々や風、太陽の光が美しく映し出される様子を眺めていると、日常から解放され、心が穏やかになっていくのを感じられるでしょう。

スーペリアバルコニールームの客室露天風呂 ©Ben_Richards



スーペリアバルコニールーム ©Ben_Richards

登録有形文化財である「茶亭」はレストランとして使われており、供されるのはモダンチャイニーズ。監修するのは静岡出身で、築地「東京チャイニーズ一凛」、鎌倉「イチリンハナレ」、日比谷「TexturA」で店主を務める齋藤宏文。山と海に囲まれた自然豊かな静岡の素材を活かし、沼津らしさを味わえるコース料理を提供します。メニューは季節ごとに変わりますが、静岡県産の豚肉をオーブンで焼き上げ、仕上げに炭火であぶり伊豆の山葵を添えた焼豚や、イチリンハナレのスペシャリテでもあるよだれ鶏の3段活用など、シンプルながら食欲を刺激する食事をいただくことが可能。登録文化財や近代建築、モダン中華などさまざまな表情をもつ「沼津倶楽部」。カルチャー摂取とデトックスが同時に叶う由緒正しき宿です。

よだれ鶏を食べ終わったあとのたれに、餃子と山椒麺をつけていただくよだれ鶏の3段活用

「沼津倶楽部」
静岡県沼津市千本郷林1907−8
055-954-6611
https://numazu-club.com/

© Copyright YANASE & Co., Ltd. All Rights Reserved.